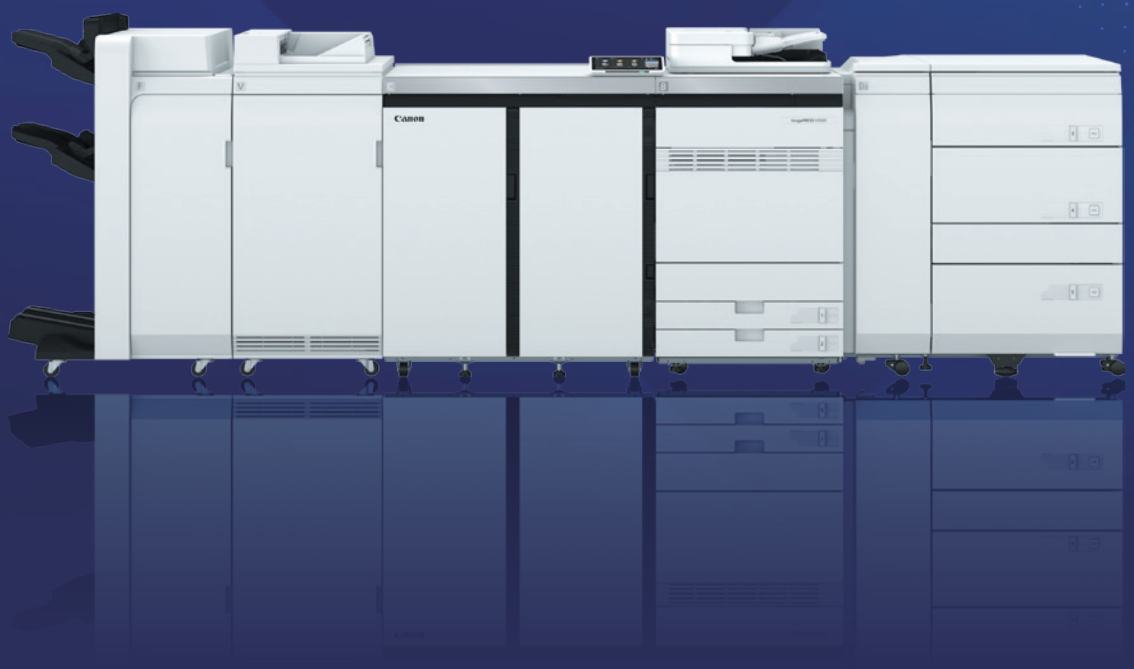
Canon

imagePRESS V1000

安定品質で、現場に変革を。



安定した印刷で、生産現場の課題を解消。
プリントビジネスに新たな価値を創造します。

高速、高画質はもちろん、計画通りに安定して印刷できること。
生産現場において、プロダクションプリンターの役割が
欠かせなくなっている現在、これまで以上に安定性が重視されています。
imagePRESS V1000 は、独自の技術やサポート体制で、
こうしたニーズに応え、ムダなく安定的に、高品質な成果物を生産。
さらに作業時間短縮による高生産性や優れたメディア対応力を誇り、
長く信頼して利用できる、安心のプロダクションプリンターとして、
プリントビジネスの新たな可能性を生み出していきます。

imagePRESS V1000

※オプションを含みます。

Flexibility & Productivity

P03

［ メディア対応力・生産力 ］

独自技術により、一台で多種多様なメディアに対応。
設定変更などの手間を抑え、訴求力の高い成果物を生み出します。

Stability & Reliability

P05

［ 安定性・信頼性 ］

多彩な補正機能を備え、高品位なプリントを供給。
オペレーターの経験に左右されることなく、品質の安定化を実現します。

Automation & Efficiency

P07

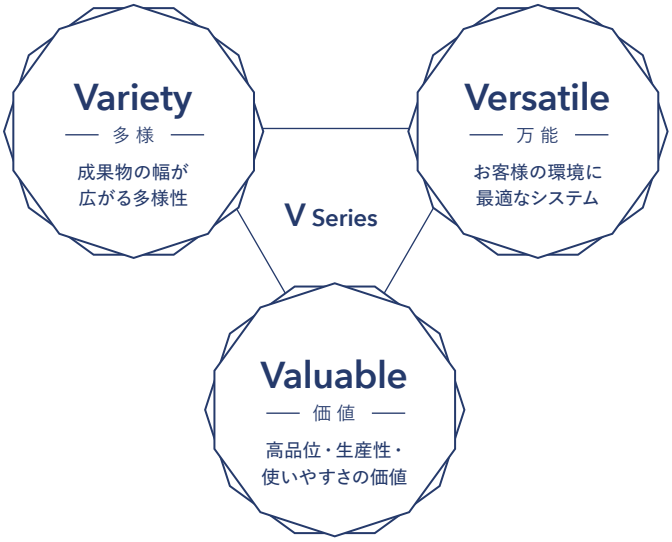
［ 自動化・効率化 ］

準備や調整といった印刷以外の作業を大幅に効率化。
ダウンタイムを軽減し、作業の短縮化、生産性向上に貢献します。

imagePRESS V Series Concept

新世代の3つの「V」

新たな価値の創造を目指して「Variety（多様）」「Valuable（価値）」「Versatile（万能）」をコンセプトとして、imagePRESS Vシリーズは誕生しました。品質や生産性、使いやすさの追求、さらに多様な印刷物に対応できる次世代プロダクションプリンターとして、新たな価値を提供します。



［ メディア対応力・生産力 ］

Flexibility & Productivity

幅広いメディア対応力と、高い生産性を実現。
一台で多様なプリントニーズに応えることができ、高付加価値化、業務効率改善に貢献します。

現場の声

●厚紙をメインに使用しているが、普通紙に比べるとスピードが遅くて生産性があがらない。
●設置スペースも限られているので、あまり大きい機械も置けない。

V1000で解決！

大径の加熱ローラーを採用した**新定着機構**により400gの厚紙も100枚/分※で出力します。ワイドニップで効率よく熱量を伝導できるため、100枚/分でありながらもコンパクトな設計を実現しています。

※多段デッキ利用時

現場の声

●多種多様なメディアを使用するので、メディアごとに適した機械を複数台導入している。
●管理が煩雑になるので、できれば機器を集約したい。

V1000で解決！

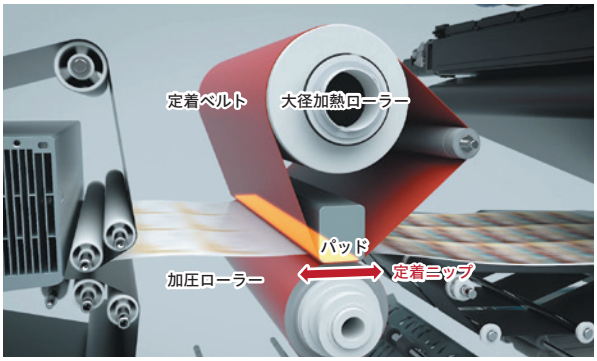
用紙厚ごとに搬送パスを最適な角度に調整する**新転写技術**や、用紙へのストレスをかけにくい新定着技術により、薄紙から厚紙、封筒、長尺など多様なメディアに対応します。成果物ごとにプリンターを分ける必要がなくなり、機器管理の手間もかかりません。

高付加価値の成果物を、より効率的に印刷。

利用シーンに合わせたサイズや素材へと、成果物に求められる形状は変化しています。
imagePRESS V1000は、長尺から厚紙、特殊な用紙のプリントなど、スピーディーに生産可能。
市場のさまざまなニーズに柔軟に対応します。

高速出力で多種多様なジョブに柔軟に対応

新定着機構（POD-SURF※）では、定着ベルトの熱が用紙に奪われても、大径の加熱ローラーが瞬時に温めなおしベルト温度を一定に制御することで、100枚/分の高速出力を実現。
また定着ベルト内の固定パッドと弾性の加圧ローラーで形成するワイドニップにより、用紙との接触面積が広がることで、多くの熱を要する厚紙も効率よく熱量を伝導し、用紙ごとの定着温度切替によるダウンタイム軽減に寄与します。
※ Print on Demand Surface Rapid Fusing



重連の自由度が高く、用紙補給の手間を軽減

オプションの多段デッキまたはPODデッキ・F1を重連すると最大11,100枚（80g/㎡）の大量給紙が可能です。多段デッキには長尺デッキや手差しの重連もできるため、用途に応じてお選びいただけます。

最大11,000枚の給紙容量

一台で多種多様なプリントニーズに対応

●紙厚に応じて搬送パスを自動的に可変

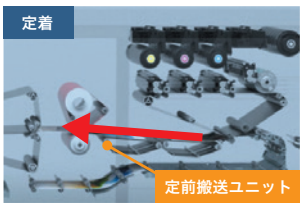
紙厚に応じて転写内ローラーとバックアップシートの位置を最適な位置に可変する新転写技術を採用。厚紙は後端跳ねによる画像不良が起こらないよう搬送パスを平らに、薄紙は貼りつきを防ぐため搬送パスに角度をつけることで、52gの薄紙から400gの厚紙まで、どのような用紙でも高品位な印刷を実現します。

後端跳ねによる画像不良が起こらないようにバックアップシートでパスを平らに

静電貼りつきしにくいように角度をつける

●安定した搬送で封筒のシワを抑制

新定着機構（POD-SURF）では用紙を屈曲させずに通紙し、一定の圧力をかけることができるため、封筒のシワ発生を抑制します。また転写から定着にかけての搬送パスも水平のため、封筒やはがきのような高剛度・小サイズの用紙でも安定して搬送することが可能です。

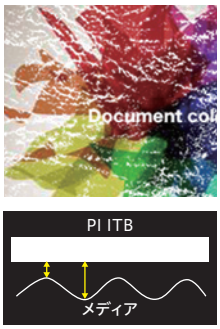


●幅広い用途に応える長尺両面印刷

最大330.2mm×1,300mmの長尺自動両面に対応。四つ折りパンフレット、横型学参ドリルやPOP・掲示物など、時期や配布対象に合わせて様々な印刷物に応えます。

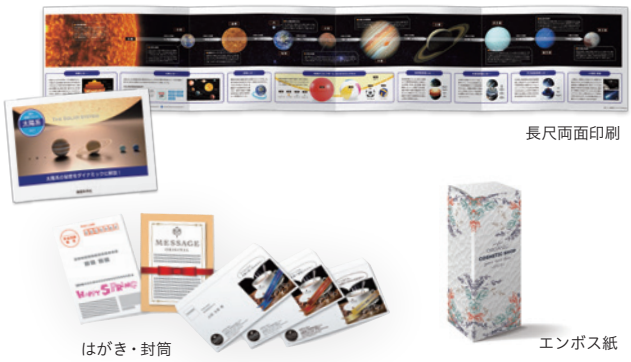
●凹凸のある用紙でも高品位な出力が可能

弾性素材の中間転写ベルト（ITB）が、用紙の凹凸に沿うことで、多様な用紙への高品位な二次転写を実現。エンボス紙や再生紙にも、文字画像の中抜けを防止し、高いトナー転写性を発揮します。



樹脂素材の中間転写ベルト（ITB）は、表面に凹凸のある用紙では奥まで転写が難しい。

弾性素材（ゴム）の中間転写ベルト（ITB）により、表面に凹凸のある用紙でも奥まで転写可能。



長尺両面印刷

はがき・封筒

エンボス紙

[安定性・信頼性]

Stability & Reliability

高品位な成果物を、安定的に提供するために。
色の再現性や高いレジ精度を実現する多彩な機能を備え、作業負荷を抑えるとともに、信頼性を高めます。

現場の声

●出力した用紙がカールや波打ちしていて積載性が悪く、次の工程の作業で手間がかかる。

V1000で解決！

定着機構の後ろに**冷却ユニット**を配置。両面印刷時は表面・裏面それぞれ定着直後に冷却を行うため、高品位な成果物出力で次工程へスムーズに移行できます。ヒートシンク方式を採用しているため、水の補充をする必要もありません。

現場の声

●連続で出力していると徐々に色や印字位置がずれていくので、安定した品質の確保が難しい。

V1000で解決！

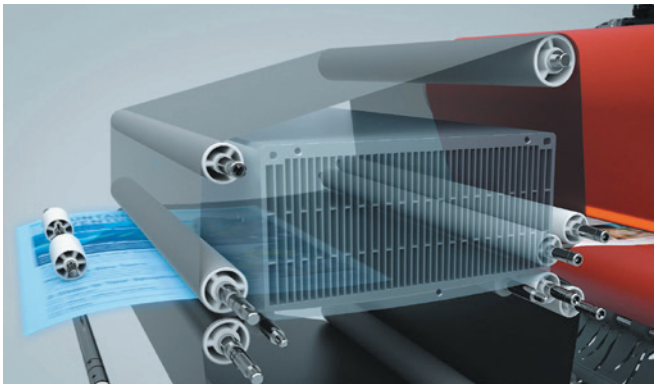
印刷中も5階調のパッチ検知による色味補正と3か所での**レジストレーション補正機構**で高精度な色味・印字位置を実現。さらに**センシングユニット**（オプション）を装着すると、リアルタイムに印刷用紙上で自動検知・補正を行うため、より安定した品質を維持します。

繊細なニュアンスを再現し、品質の安定化を実現。

頻繁に発生する補正作業は作業負荷を高め、品質のばらつきはお客様からの信頼にも関わります。
安定性の確保を考慮した機能の数々を搭載し、繊細なニュアンスまで、きめ細やかな仕上げで、高品質な成果物をお届けします。

冷却ユニットで用紙の反りや貼り付きを抑制

本体内に冷却ユニットを標準装備し、定着で高温になった用紙を上下のベルトで紙を挟みながら接触吸熱することで約25%※の熱を低減。排紙時の用紙の貼りつきや反り返りを抑制し、高品位な出力を可能とすることで、断裁や製本などの後加工や梱包作業を効率化します。
※環境により異なります。



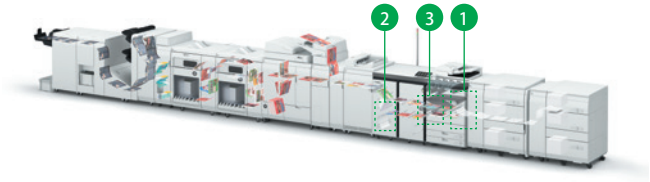
優れた補正機能で安定した印刷品質を実現

●安定した色味を保持する「Multi-D.A.T※」

転写ベルト上に配置されたCMYの紙間パッチ濃度を測色し、理想濃度とのずれを補正します。各色5階調のパッチを採用することで、低濃度から高濃度域まで精度の高い補正を行い、安定した色味の再現を実現しています。
※Multi-Density Adjustment Technology

●成果物の信頼性を高めるレジストレーション補正機構

3か所のレジ補正で定型サイズから長尺まで両面印刷時でも高いレジ精度を保ちます。
❶用紙の先端をレジストローラーに突き当てて斜行を補正するとともに、用紙の端をCIS（横レジ検知センサー）で検知し、左端レジを補正。（片面/両面印刷時）
❷反転部で用紙の端をCIS（横レジ検知センサー）で検知し、横レジを補正。（両面印刷時）
❸反転パス経路で先端をレジストローラーに突き当てて斜行を補正。（両面印刷時）



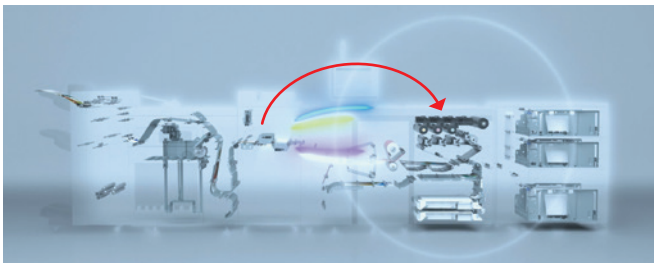
●印刷物の色味とレジをリアルタイムで補正するセンシングユニット※

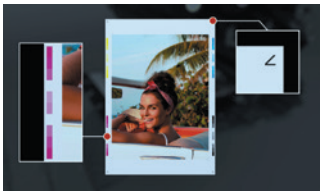
分光センサーとコンタクトイメージセンサーの両方を備えたセンシングユニットを使用することで、印刷物の濃度と表裏レジをリアルタイムで補正します。
※オプションです。

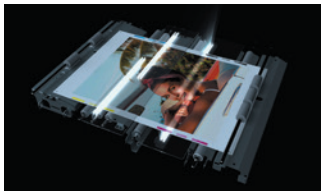
［色味補正］
定着後の用紙の端に濃度パッチをうち、センサーで濃度変化を検知。印刷中も色味を自動で補正し、印刷開始から終了まで安定して高品質な印刷画像を維持することが可能です。

［レジ補正］
用紙の四隅にレジ検査マークをうち、レジ位置を検知。印刷中もリアルタイムに表裏レジを自動で補正するため、調整の手間をかけずに連続出力時も安定して印刷することができます。

センシングユニットから本体にフィードバック




色味と位置をチェック


リアルタイムで読み取り

[自動化・効率化]

Automation & Efficiency

稼働率を高めるためには、計画的に進めていくことが大切です。
オペレーターの手間を軽減し、作業の短縮化、そして高い生産性を実現します。

現場の声

●印刷を開始するまでの画像や用紙に関する調整作業の負荷が大きく、オペレーターの負担になっている。

V1000で解決！

日々行う**本体の画像調整や用紙設定を自動化**。調整作業でオペレーターが拘束される時間を大幅に削減します。作業の効率化により空いた時間で他の作業が行えるため、生産性の向上を図ることが可能です。

※機能によってはオプションが必要です。

現場の声

●目視で検品作業を行っているので、担当によるばらつきがあり、全数検査も難しい。

V1000で解決！

人手に頼っていた**検品工程を自動化**し、検品業務の省人化・省力化を促進するとともに、成果物の品質安定化を実現します。人手の作業では見逃してしまう可能性のあるミスを検出し、印刷物の品質向上を図ります。

※オプションが必要です。

作業時間を短縮し、効率化や生産性の向上に貢献。

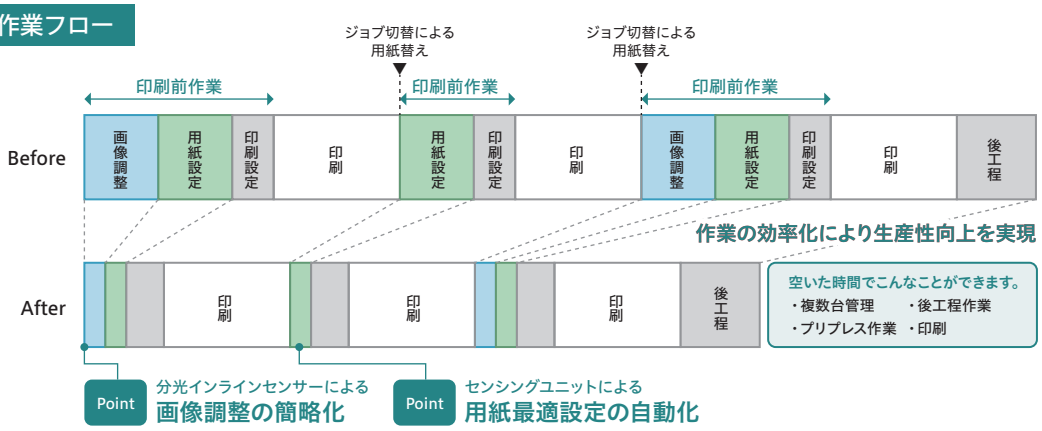
印刷速度の速いプリンターでも、印刷前の調整作業に時間がかかれば、生産性を上げることは困難です。
誰でも簡単に作業が進められるよう調整作業を自動化し、オペレーターの作業時間の短縮による生産性の向上を実現します。

オペレーターの拘束時間を削減し、業務を効率化

オペレーターの課題

・1日複数回のキャリブレーションや用紙切替時に発生する設定作業により、印刷以外の拘束時間が多い
・手動の調整、設定作業だと、オペレータースキルによりばらつきが発生する

例：1日の作業フロー



画像調整作業の簡略化

本体内に高精度な分光インラインセンサーを標準で内蔵し、日々行う各種画像調整作業を自動化。パネルで指示を行うだけで、インラインセンサーが自動でチャートを読み取り補正まで完了させるため、原稿台でのチャート読み込み作業や手動での測色作業が不要となり、オペレーターの拘束時間を大幅に削減します。

用紙最適設定の自動化

オペレーターのスキルによりばらつきが発生しやすい用紙ごとのレジ調整やトナー載り量調整を自動で検知し、オペレーターの経験値に左右されることなく、最適値に設定することができます。手動で行うと日々業務の負荷となる調整作業を簡素化することで、印刷前の調整作業を軽減し、生産性の向上に貢献します。
※オプションが必要です。

検品の自動化により、省力化と品質の安定性を両立

●生産性を確保した印刷品質検査

プリンターの生産性を維持したまま、基準画像をもとに、汚れ・スジ・位置ずれ・角折れを検査します。ページ内で柔軟に領域を指定し、領域ごとに検査レベルを設定することが可能です。

●バリアブルデータを可読と同時に照合検査

設定した領域内のバーコードの読み取りと文字OCRを行い、結果を保存することができます。照合用のCSVデータがあれば、読み取りと同時に照合検査も可能です。

※オプションが必要です。

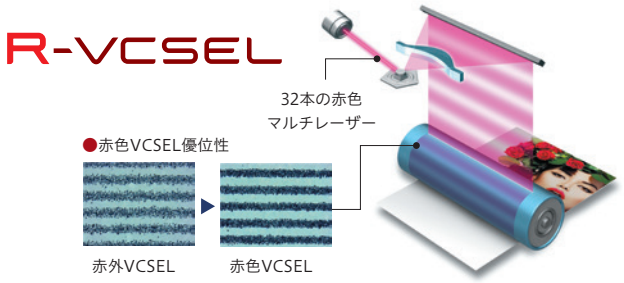
［ 高精細・高画質 ］

High Definition & High Quality

出力イメージや用紙の質感に合わせて、見る人を魅了する高精細で美しいプリントを実現。
先進のテクノロジーを凝縮し、高画質のプリントニーズに対応します。

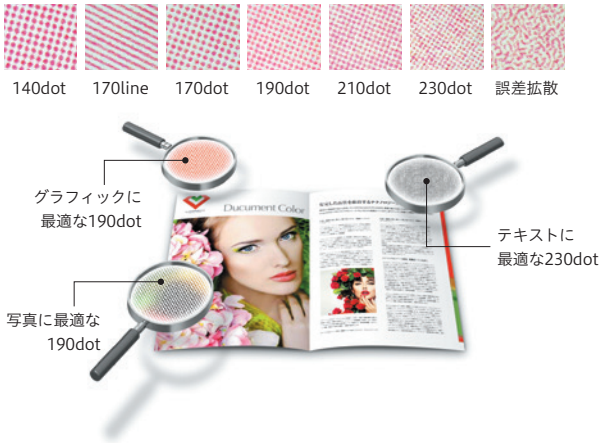
2400dpiの高精細画質を高速出力

32本のマルチレーザーを照射する「R-VCSEL※テクノロジー」を採用。赤外よりも波長の短い赤色レーザーを使用することで、より小さいスポット径を実現し、高精細な出力をします。
また、斜行補正や直角補正のほか、台形補正を行うことで正確な描画が可能です。
※Red Vertical Cavity Surface Emitting Laser。ソニー株式会社との共同開発。



出力イメージに適した組み合わせが選べる多彩なスクリーン

さまざまなスクリーンの中から出力物に合った2種類のスクリーンを選択できます。写真、グラフィック、テキストごとに組み合わせも変えられるため、出力イメージに応じて最適な設定が可能です。



マットコート紙にも対応した柔軟なグロスコントロール

用紙の質感にマッチした光沢を再現するグロスコントロール機能を搭載しています。普通紙や上質紙、コート紙などに適した自然な光沢を再現できるだけでなく、マットコート紙にも合うようにグロス感を抑えた出力ができます。

優れた色再現性を実現するCVトナー

CV（Consistently Vivid Color）トナーは、色材の分散状態を微細に保ちながら溶融特性を最適化することにより、オフセット印刷に迫る色再現や多様なメディアに応じた最適な光沢感を実現しました。

色変換の誤差を軽減するデバイスリンクプロファイル

Lab変換を行わないデバイスリンクプロファイルに対応することで、ターゲットとなる色に対し高精度なカラーマッチング処理を行います。
※キヤノンがプロファイル作成を行う「デバイスリンクプロファイル作成サービス」に対応しています。

デバイスリンクプロファイル作成サービス Color Management Service

専任サポートスタッフが訪問し、印刷物・DDCP・ICCプロファイル等のターゲットカラーのデバイスリンクプロファイルの作成および操作・品質の維持管理に関するレクチャを行います。通紙可能な印刷本紙でのプロファイル作成に対応することで、デザインカンプからオンデマンドプルーフまで、より良いカラーマッチング環境の構築が可能になります。また、複数のimagePRESSを同じターゲットにマッチングすることで、デバイス間差のより少ないプリント環境が構築できます。
※有償サービスです。

□ サービス実施の流れ

1.ターゲットの決定

プロファイル作成用チャート※　評価用画像チャート

お客様が用意したチャートでマッチング対象を決める
※ICCプロファイルをターゲットとする場合は不要

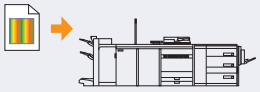
2.プロファイル作成

□チャートの測定とプロファイル作成

独自のプロファイル作成エンジンにより、繰り返し測定方式による高精度なデバイスプロファイルを作成

3.設定・管理方法の説明

□プロファイルのセットアップ



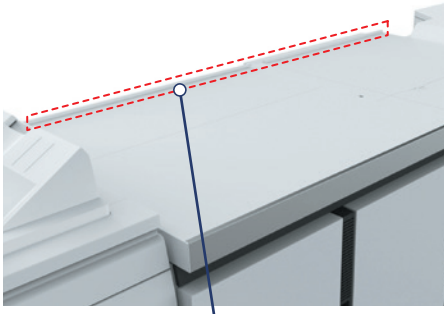
設定方法・出力方法・コンディションの維持などの管理方法の説明

[使いやすいデザイン]

Functionality & Usability

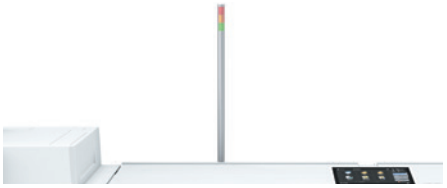
さまざまな環境にフィットしやすいコンパクトなデザインを採用。
スペース効率に加え、オペレーターが作業しやすい設計を追求しています。

背面への落下物を防止する形状



フラットな作業スペース

アテンションライト



磁石の貼り付けが可能

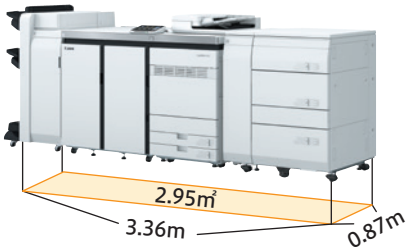
用紙の有無がわかるLED表示

ダウンタイムを低減するトナー・回収トナー容器の交換

出力稼働したままトナー交換可能

回収トナー容器を2つ装備し、稼働中でも交換が可能

省スペース設計



※多段デッキ・E1、中綴じフィニッシャー・AF1装着時

Controller

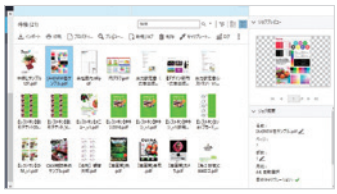
imagePRESS Server D3000

直感的なインターフェースにより、ミスなく効率的なジョブ管理をサポート。
正確なカラーマネジメント、印刷品質を高める機能等により、成果物の訴求力向上に貢献します。

Job Management

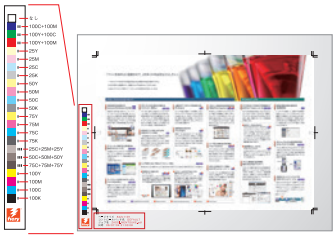
●直観的かつ操作性に優れたユーザーインターフェースで高度なジョブ管理に対応する「Command WorkStation」

○ドラッグ&ドロップでファイル（PDF/PS/EPS/TIFF）だけでなくフォルダ単位での印刷ジョブのインポート
○複数のキーワードによるジョブのフィルタリング
○RIP済み待機ジョブのプレビュー
○複数サーバーの一元管理
○トナーや用紙の残量の確認
○ジョブリストからのリプリント
○ジョブのサムネイル表示



●出力紙にカラーバーや設定情報を印字する「コントロールバー」※1

カラーバーの種類や印字する項目、位置は自由に設定可能



Workflow

●プレビューを見ながら「中綴じ」や「巻き三つ折り」、「ギャングアップ」など多彩なテンプレートを利用した面付けの他、トンボやジョブ名、折りマークが追加できる「Fiery Impose」※2

●ドラッグ&ドロップするだけで印刷設定して出力できる「Hot Folders ver.3」
●プリント業務別に設定情報を登録できる「仮想プリンター」
●印刷処理順を正確に制御する「Strictキュー」
●PDFを直接RIP処理できる「AdobePDF Print Engine」
●デジタルワークフローの自動化を実現する「Fiery JDF」

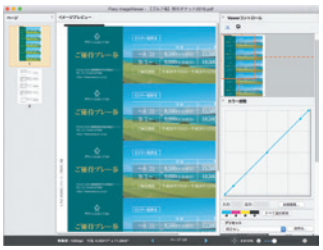
Color Management

●指定したプロセスカラーを、定義したスポットカラーに置き換える「2色印刷マッピング」

■OFF

■ON

●RIP済みジョブに対して、プレビューを見ながらカラーホイールやトーンカーブを使った色補正が行える「Image Viewer」※1よく使うトーンカーブを登録し、ドライバー側で選択も可能。



●定義済みCMYK階調カーブを指定することで、簡単にジョブ全体の色味調整が可能な「Image Viewer Curves」

●元データを変更することなく、ジョブのページまたはシートごとに指定してカラーデータを変換する「グレースケール変換」※2※3

●CMYKだけでなく特色同士のオブジェクトでもオーバープリントを再現できる「Spot Color Overprint」

Print Quality

●ビジュアル編集機能で高品質な仕上がりを支える「Image Enhance Visual Editor」

●色の境目の白抜けを高精度に補正する「自動トラッピング機能」

●任意の線数や角度を設定する「ハーフトーンシュミレーション」

■ Image Enhance Visual Editor

■新聞

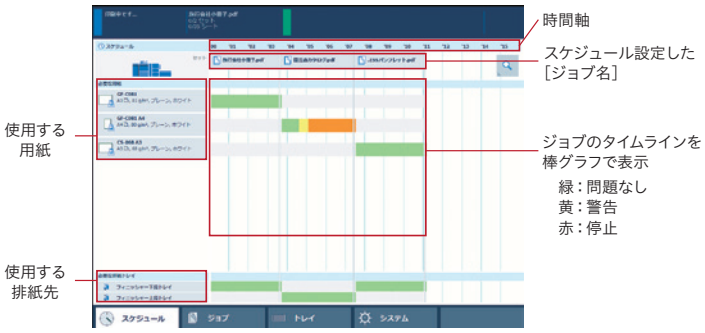
■ユーザー定義スクリーン1

※1「Graphic Arts Pro Package」（オプション）が必要です。
※2「Fiery Impose」（オプション）が必要です。
※3「Fiery Compose」（オプション）が必要です。

PRISMAsync for iPR V1000-A1

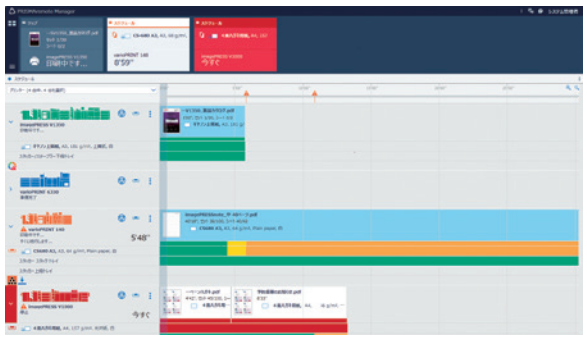
ジョブの進捗状況や消耗品の補充タイミングなど、あらゆる運営業務がコントローラーから管理可能。
稼働状況を可視化し、合理的なスケジュール構築をサポートします。

Job Management



スケジュール管理画面

●最大8時間先まで表示可能な「スケジューラー機能」
用紙や消耗品の補充タイミングが把握でき、作業の効率化をサポート。



●ブラウザ経由で印刷スケジュール確認やジョブの投入を可能にする「PRISMAremote Manager」
オペレーションパネルやプリンタードライバーと統一された操作感により、出力作業を合理化。

●稼働ステータスを遠隔で管理する「PRISMAremote Monitoring」※1
離れた場所で作業しながら、ジョブの進捗状況や消耗品の補給を手元のスマートフォンアプリへクラウド経由で通知することで他の作業を行いながら効率的な作業が可能。(2024年7月対応予定)

●プリンターの稼働実績や出力実績を可視化する「PRISMAlytics Dashboard」※1
自動的にクラウドに集約された情報から、稼働率や利用傾向の変化を表示。複数プリンターの実績を追加の手間をかけず閲覧が可能。

Workflow

●オペレーションパネルに表示されるサムネイルを見ながら用紙確認やページ削除、ジョブ結合などジョブ編集が可能な「Page programming」※2

●他社デバイスなど、既存のリソースとの互換で生産性を高める「DPlink」※3

Color Management

●外部ツールを利用せず、用紙ごとに適したプロファイルを作成する「Embedded Profiler機能」※4

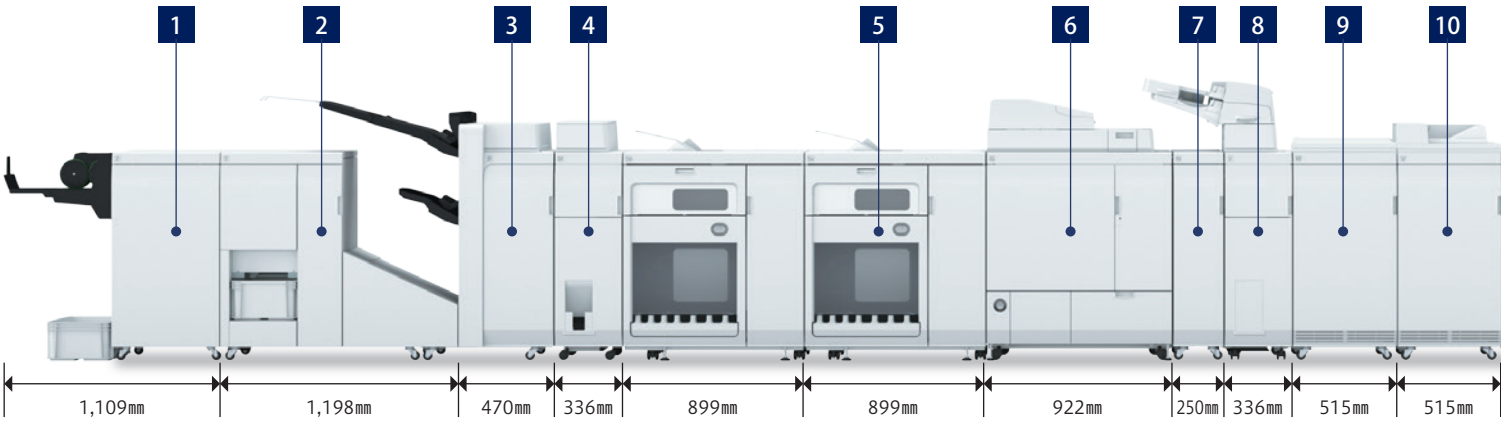
切替え可能

●複数の色調整作業をタスク化し、予め設定したルールで実行する「自動カラータスク」

※1 利用開始には事前申請が必要です。
※2 別途オプション「ページプログラミング・K1」が必要です。
※3 別途オプション「DP Link-K1」が必要です。
※4 別途オプション「アドバンスト・カラーマネージメント・K1」が必要です。

Option

プリンターの可能性を広げる各種オプション

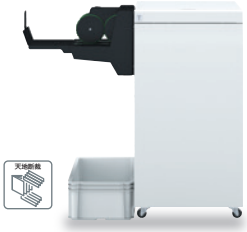


排紙系オプション

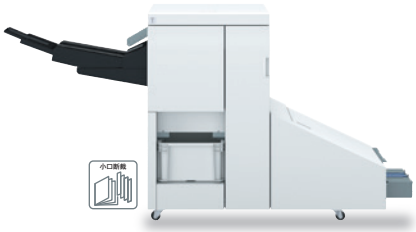
1 天地トリマー・B1　2 トリマー・G1

トリマー・G1を使用することで、自動小口断裁が可能。さらに、天地トリマー・B1を使用することで、三方断裁が可能になり、インラインで、より確実に美しい製本処理ができます。

＊小口断裁には、オプションの「中綴じフィニッシャー・AF1」、「トリマー・G1」が必要です。三方断裁にはオプションの「中綴じフィニッシャー・AF1」、「トリマー・G1」、「天地トリマー・B1」、「トリマーコンベア・B1」が必要です。



天地トリマー・B1



トリマー・G1

3 ステイプルフィニッシャー・AF1 中綴じフィニッシャー・AF1

最大5,000枚の大量積載、100枚ステイプル機能と25枚中綴じステイプル機能※1を搭載しています。フィニッシャー排紙時に用紙の紙揃えも可能です。

※1 中綴じフィニッシャー・AF1のみ対応。

中綴じフィニッシャー・AF1

■ パンチャーユニット・BT1

フィニッシャー内に搭載。2穴または4穴のパンチ穴加工が可能です。

4 ペーパーフォールディングユニット・K1

「Z折り」や「C折り（A4Rに対応）」など多彩な折りパターンでさまざまな印刷ニーズに対応します。

5 大容量スタッカー・J1

スタック部トレイに6,000枚（3,000枚×2束）の用紙が収容でき、重連で最大12,000枚（4束）まで積載可能です。稼働を停止することなく連続して積載できるので高い生産性を維持します。

■ 大容量スタッカー用長尺トレイ・B1

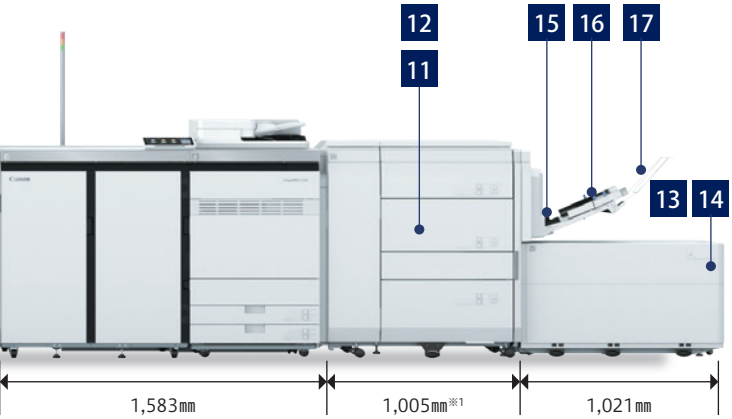
487.7mm超の長尺用紙が排紙可能です。

6 パーフェクトバインダー・F1

インラインで厚さ25mmまでの「くるみ製本」が可能です。製本から糊付け、三方断裁、積載までを設定ひとつで行えます。

※本ページに記載の枚数は、全てA4 80g/㎡紙の場合です。

＊各オプション機器の間に5mmの隙間があります。
※1多段デッキ・E1またはPODデッキ・F1単体時は
965mmになります。



7 除電ユニット・A1

フィルム・合成紙など、帯電しやすい印刷用紙の静電気を除去し、排紙時の貼りつきや積載不良を軽減します。

8 インサーター・R1

最大200枚×2段の用紙をセット可能。セットした用紙を表紙や合紙として給紙可能です。

9 インスペクションユニット・C1

印刷物の汚れや傷、印字ズレを検知します。NG紙のエスケープ可否が選択でき、エスケープする場合は自動で再印刷まで行います。

＊エスケープするには、別途「大容量スタッカー・J1」が必要です。

10 センシングユニット・B1

印刷中に濃度や表裏レジを自動で補正します。また、印字位置や二次転写の最適値を自動設定することが可能です。

給紙系オプション

11 PODデッキ・F1

最大5,000枚の給紙が可能な3段カセットには、用紙を1枚ずつ高精度に分離するフルエア給紙方式を採用。用紙残量は4段階のLEDで表示します。
最大2台までの重連や他給紙オプションとの重連にも対応し、コート紙や合成紙などさまざまな用紙の大量給紙に最適です。

12 多段デッキ・E1

最大5,000枚の給紙が可能な3段カセットには、「エアアシスト給紙機構」を採用し、高速かつ安定した用紙搬送を行います。最大2台までの重連や、手差し給紙ユニット・D1、PODデッキライト・C1またはPODデッキライトXL・A2との重連ができ、さまざまな用紙の大量給紙に対応します。

■ 重送検知（標準）

紙の隙間を超音波センサーが感知し、重送した場合はパージトレイに排出します。機械を止めずに重送による白紙混入を未然に防止します。

13 PODデッキライト・C1

330.2mm×487.7mmまで対応し、最大3,500枚の用紙をセットできます。「エアアシスト給紙機構」を採用することで、安定した給紙を実現しています。

14 PODデッキライトXL・A2

最大3,500枚の用紙をセットできる他、487.7mm超の長尺用紙も1,000枚給紙可能なため、大量の長尺印刷が可能です。「エアアシスト給紙機構」を採用しています。

15 手差し給紙ユニット・D1
16 手差し補助トレイ・D1

封筒やはがきサイズの他、330.2mm×487.7mmまで対応しています。手差し補助トレイ・D1を装着すると、手差し給紙時の斜行を軽減できます。

17 長尺用トレイ・B1

最大330.2mm×1,300mmまで給排紙可能な長尺用延長トレイです。（給紙側と排紙側のセット）

＊搬送長762mm以上の場合は手で支える必要があります。

◆ imagePRESS V1000 主な仕様

名称		imagePRESS V1000
形式		コンソールタイプ
カラー対応		フルカラー
読み取り解像度※1		600dpi×600dpi
書き込み解像度		2,400dpi×2,400dpi
階調		256階調
複写原稿※1		最大A3サイズまで：シート、ブック原稿、立体物（約2kgまで）
複写サイズ	用紙サイズ	330mm×483mm、320mm×450mm（SRA3）、305mm×457mm、 A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、郵便はがき※2、 郵便往復はがき、郵便4面はがき、 ユーザー設定サイズ（100mm×148mm※3 ～ 330.2mm×487.7mm、 210.0mm×487.8mm ～ 330.2mm×1,300mm※4）、封筒※2※5※6
	画像欠け幅	先端/後端：4.0mm　左/右：2.5mm（送り方向19.2inch超は4.0mm）
	用紙坪量※7	カセット：52g/㎡～ 300g/㎡※8 手差し・デッキ：52g/㎡～ 400g/㎡（手差し給紙ユニット・D1※9、 PODデッキ・F1※9、多段デッキ・E1※9※10、 PODデッキライトXL・A2※9）
ウォームアップタイム		360秒以下（室温20度）
ファーストコピータイム（室温20 ～ 30度）※1		カラー：16秒以下　モノクロ：16秒以下
連続複写速度※11	A3	カラー /モノクロ：54枚/分
	B4	カラー /モノクロ：61枚/分
	A4	カラー /モノクロ：100枚/分
	B5	カラー /モノクロ：100枚/分
複写倍率※1	定型	400, 200, 141.4, 122.4, 115.4, 100, 86.5, 81.6, 70.7, 61, 50, 25（%） 等倍時誤差：タテ：±0.65%　ヨコ：±0.90%
	ズーム	25 ～ 400%（1%刻み）
給紙方式/ 給紙容量（80g/㎡）	カセット	550枚×2
	手差し※9	250枚※12
	デッキ※9	1,500枚×2＋2,000枚×1（PODデッキ・F1/多段デッキ・E1） 3,500枚×1（PODデッキライト・C1/PODデッキライトXL・A2※13）
連続複写枚数※1		9,999枚
電源		AC 200V20A×2（50/60Hz）
最大消費電力		本館：3,100W以下/別館：2,900W以下
大きさ（ADF含む）		1,583mm（幅）×872mm（奥行）×1,185mm（高さ）
質量（ADF含む）		約410Kg
機械占有寸法		3,618mm（幅）※14×872mm（奥行）
メモリー容量		RAM：6GB、SSD：240GB（標準）

◆ imagePRESS Server D3000 V2.0 主な仕様

CPU		Intel Core i7-8700（3.4GHz up to 4.6GHz w ／ Turbo）
OS		Windows10 Iot Enterprise 2021 LTSC
メモリー		16GB（8GB×2）
記憶装置	HDD	1×1TB（HDD）、240GB（SSD）
	外部メディア	–
プロトコル		TCP/IP
ページ記述言語		Adobe PostScript 3 Co-Dev 3020 Adobe PDF Print Engine 6.0
搭載フォント		欧文138書体、和文5書体
大きさ		235mm（幅）×464mm（奥行）×527mm（高さ）

◆ PRISMAsync for iPR V1000-A1 主な仕様

CPU		Intel Core i7-8700（8th Gen Coffee Lake）
OS		Windows 10 LTSC Embedded 64bit
メモリー		16GB（8GB×2）
記憶装置	HDD	1×500GB、1×1TB
	外部メディア	USB
プロトコル		TCP/IP
ページ記述言語		Adobe PostScript 3 Adobe PDF Print Engine 5.7
搭載フォント		欧文137書体、和文5書体
大きさ		200mm（幅）×430mm（奥行）×420mm（高さ）

※1　コピー機能はオプションです。
※2　紙種により使用できないことがあります。
※3　下記オプションを装着時は、最小通紙可能サイズが異なります。
　　大容量スタッカー・J1：140mm×182mm
※4　487.7mm超の長尺紙をご使用の場合は、別途オプションが必要です。
※5　使用できる封筒の種類は、次のとおりです。
　　定形：長形3号、洋形長3号、角形2号、COM10 No.10、ISO-C5、DL、Monarch
　　不定形：6×9インチ、9×12インチ、10×13インチ
※6　次の封筒は、本体カセットで封筒搬送キット・F1なしで使用できます。
　　角形2号、ISO-C5、9×12インチ、10×13インチ
※7　利用可能な範囲のすべての用紙について、性能を保証するものではありません。
　　詳しくは弊社担当セールスまたは担当サービスまでお問い合わせください。
　　なお、用紙の填料であるタルクは、本機の画像形成に悪影響を及ぼすことがあります。
※8　本体カセットよりラベル紙／コート紙の給紙は出来ません。
※9　オプションです。
※10　上段／中段は350g ／㎡までです。
※11　用紙種類、給紙オプション、排紙オプションにより異なります。
※12　用紙により連続給紙できない場合があります。
※13　487.7mm超の長尺紙は、最大1,000枚となります。
※14　多段デッキ・E1および中綴じフィニッシャー・AF1装着時。

オンラインサポートシステム「NETEYE」

NETEYEは、インターネットを利用して機器の状態を常に見守り、快適な使用環境をご提供するオンラインサポートサービスです。機器の稼働状態や部品の消耗状況などをリアルタイムで把握することで、故障・予兆監視、迅速な修理・保守サービスを提供し、機械のダウンタイムの削減にも貢献します。また、お客さまの機器とNETEYE サーバー間の通信内容は完全暗号化されていますので、さまざまなデータ送受信を安全に行うことができます。

NETEYE［ネットアイ］

https://canon.jp/neteye

オフィスの省エネや環境問題にも配慮しています。

ENERGY STAR

RoHS 対応

機材導入にあたって

imagePRESS V1000の導入をご検討のお客様には、プロダクションシステムセンターにて実機による検証をお願いしております。ご指定の用紙を使用して、お客様のビジネスにマッチする画質品質、仕上がり品質であるかをご確認ください。

プロダクションシステムセンター

キヤノン最新のPOD機とワークフローソリューションをご提案します。お客さまのイメージに近いソリューションを描けるよう、ご要望に応じたデモンストレーションを行います。デモゾーン／サンプル事例展示は、テーマごとにお時間をかけてゆっくりとビジネスフローを検討できるスペースとなっております。プロダクションシステムセンターは、どなたでもご利用いただけます。
（完全予約制。弊社ホームページよりお申込み下さい。）

http://cweb.canon.jp/solution/ip/psc/index.html

●製品の改良のため予告なくデザイン・仕様の変更を行うことがあります。記載の内容は2025年8月現在のものです。　●Canon、Canonロゴ、imagePRESSはキヤノン株式会社の登録商標です。
●本カタログに記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。　●本カタログ内のコピーサンプルは実際の出力とは異なります。　●本カタログ内の画面は、ハメコミ合成です。　●記載している価格は、いずれもメーカー希望小売価格です。

ご注意

●コピー後の使用環境によってはラミネート加工をお奨めします。
●法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられるものがありますのでご注意ください。
①国内外で流通する紙幣・貨幣・政府発行の有価証券・国債証券・地方債証券。
②未使用の郵便切手・郵便ハガキ。
③政府発行の印紙類のコピーは禁止されています。
●著作権の目的となっている書籍・音楽・絵画・版画・地図・映画・図面・写真などの著作権物は個人的に、また家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。
●本機は、特定の管理責任者を設けて不正コピーが行われないように運営管理してください。

安全にお使いいただくために	●ご使用の前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 ●表示された正しい電源・電圧でお使いください。

●お求めは信用のある当社で

2025年8月現在

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

キヤノン imagePRESS ホームページ
canon.jp/pod-printer

キヤノンお客様相談センター
プロダクション複合機（imagePRESS）
ナビダイヤル **0570-08-0053**
※おかけ間違いのないようにご注意願います。

受付時間〈平日〉9：00～17：00（土日祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。）
※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6　CANON S TOWER